

# 【別冊】各市町村の状況 — 智頭町

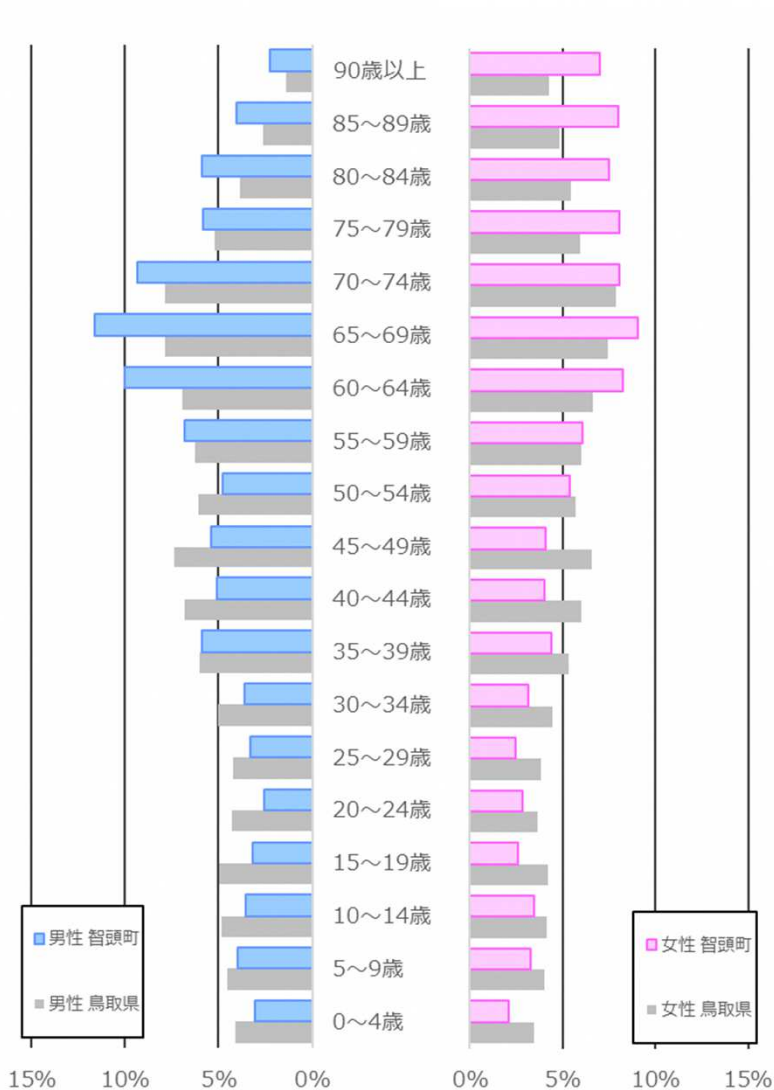
## 1. 概要

人口総数	6,427人
高齢化率	43.6%

	国保	後期
被保険者数	1,431人	1,575人
加入率	22.3%	24.5%
平均年齢	56.9歳	84.歳

出典: KDB帳票No. 3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和6年度累計）

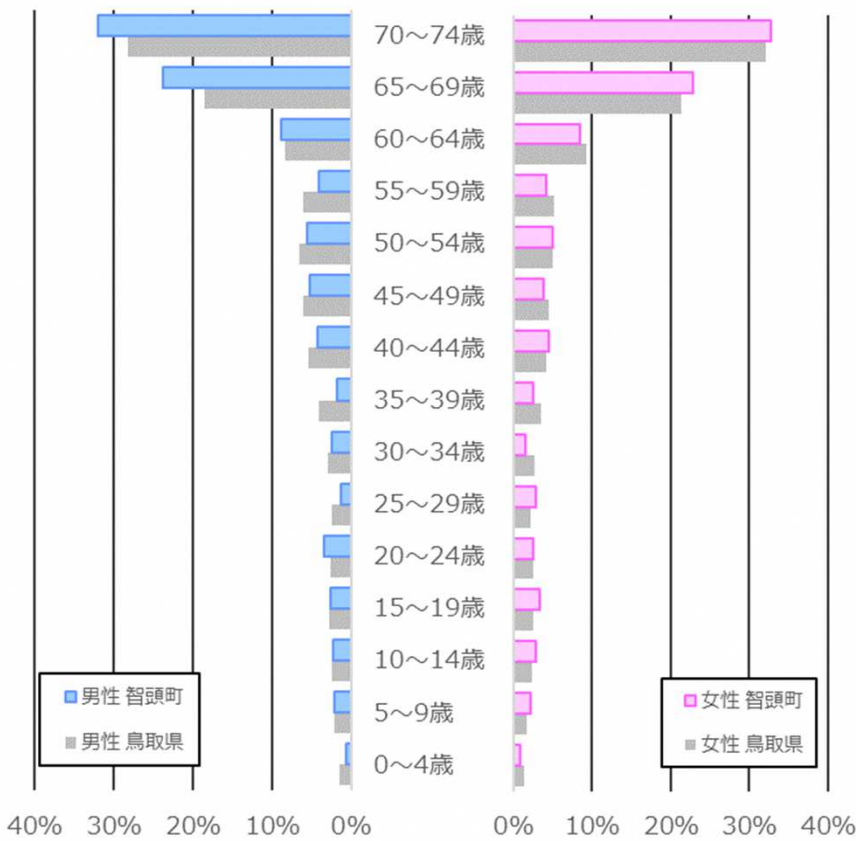
### ■ 人口ピラミッド（令和2年度）



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	91人	71人
5～9歳	120人	113人
10～14歳	107人	119人
15～19歳	95人	90人
20～24歳	77人	98人
25～29歳	99人	84人
30～34歳	108人	109人
35～39歳	176人	151人
40～44歳	153人	138人
45～49歳	162人	140人
50～54歳	144人	185人
55～59歳	205人	208人
60～64歳	300人	283人
65～69歳	348人	311人
70～74歳	281人	277人
75～79歳	174人	275人
80～84歳	177人	257人
85～89歳	121人	273人
90歳以上	67人	240人
合計	3,005人	3,422人

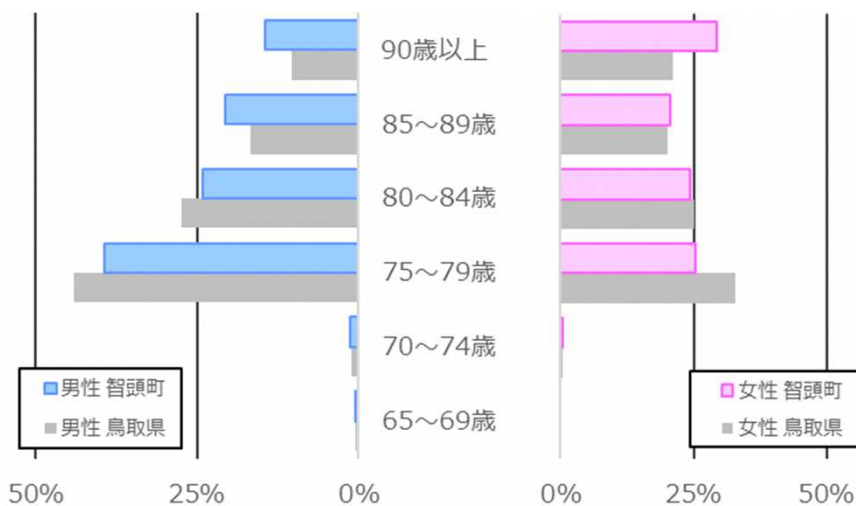
出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況（令和6年度累計）

**国保** 国保被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
0~4歳	5人	6人
5~9歳	15人	15人
10~14歳	17人	20人
15~19歳	19人	23人
20~24歳	25人	17人
25~29歳	9人	20人
30~34歳	18人	11人
35~39歳	13人	17人
40~44歳	31人	31人
45~49歳	39人	26人
50~54歳	41人	34人
55~59歳	30人	29人
60~64歳	65人	58人
65~69歳	176人	158人
70~74歳	236人	227人
合計	739人	692人

**後期** 後期被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
65~69歳	2人	0人
70~74歳	7人	4人
75~79歳	221人	257人
80~84歳	135人	246人
85~89歳	116人	209人
90歳以上	81人	297人
合計	562人	1,013人

出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況 (令和6年度累計)

## 2. 標準化死亡比 (SMR) 説明②

### ■ 主要死因別標準化死亡比SMRの推移

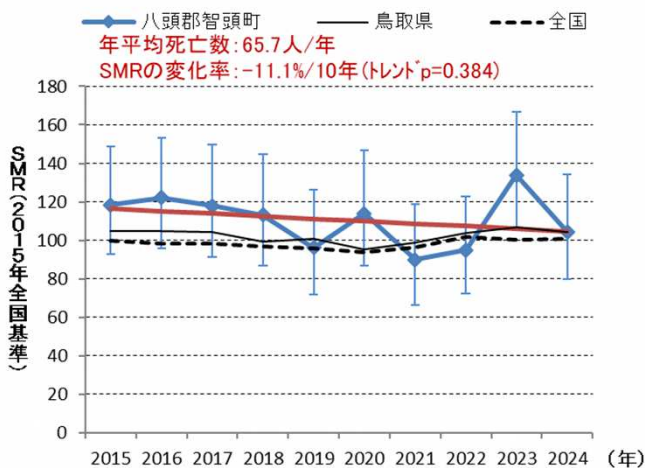
- 2015年の全国を100として、青色 = 毎年の値、赤色 = それを平滑化した値（「10年間の値をプールしてSMRを計算し、経年的な変化の傾きを付けたもの」と比較しています。主に赤色の方に注目して見ます。
- トレンドpは、「変化が偶然である確率」を意味し、 $p < 0.05$ の場合に、偶然変動とはみなせない変化があると判断します。

※全国（2015年）= 100よりも上方で推移していれば全国（2015年）よりも死亡者の割合が高く、下方で推移していれば低いことを意味します。

※全国（黒線）と同じ傾きで推移していれば全国と同じ状況にあり、全国が右肩上がりとなっている中で、全国よりも傾きが急な右肩下がりであれば、全国よりも早いペースで改善していることとなります。また、右肩上がりであれば、全国よりも改善のペースが遅いまたは悪化していることを示すこととなります。

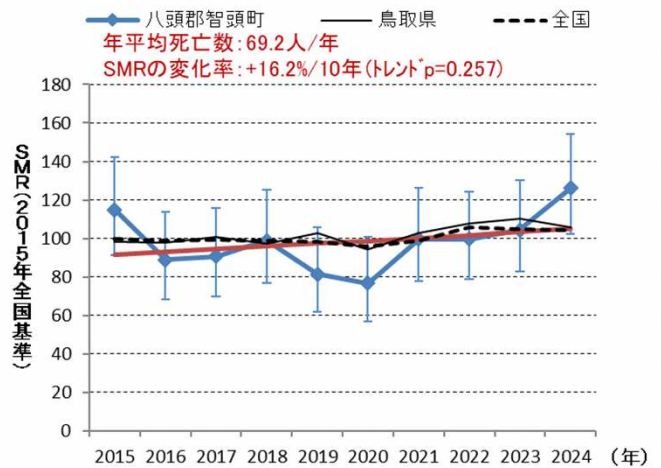
### ■ 【男性】

#### 【全死因】

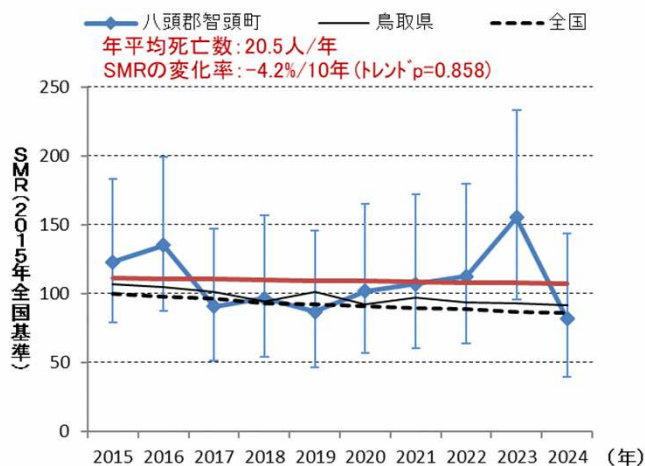


### ■ 【女性】

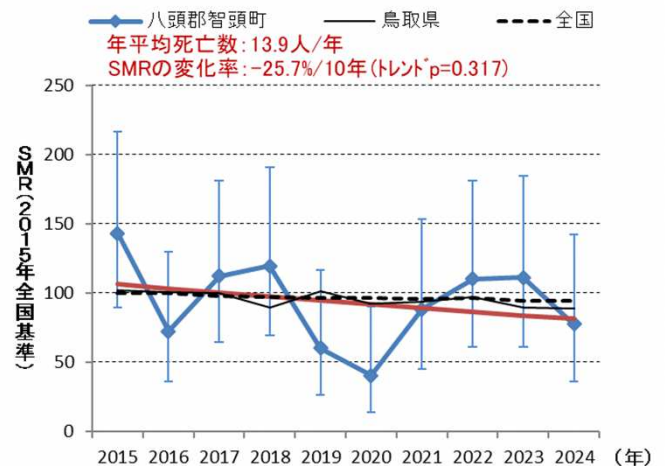
#### 【全死因】



#### 【悪性新生物】

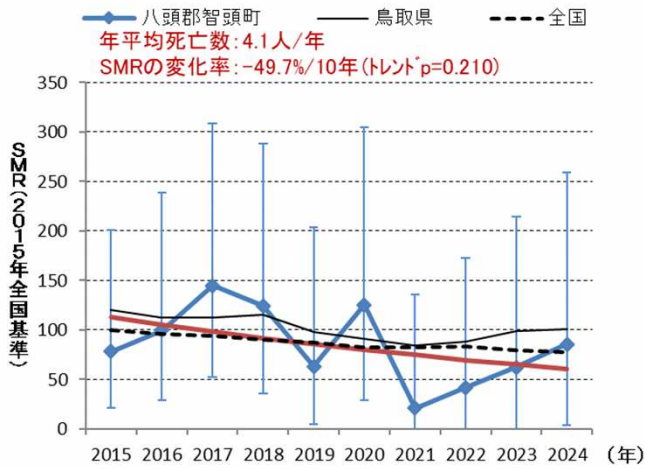


#### 【悪性新生物】



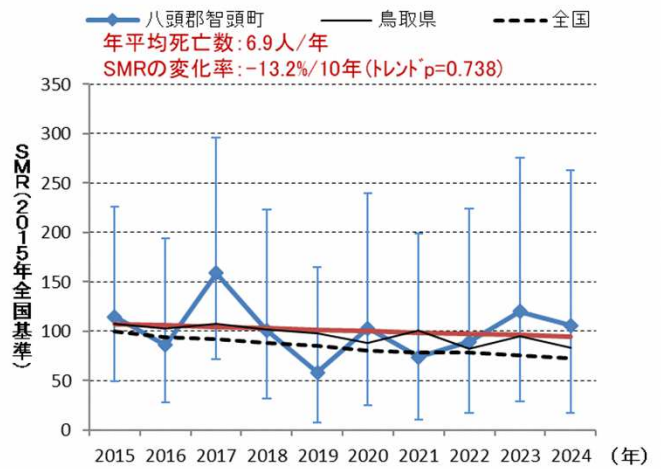
■【男性】

【脳血管疾患】

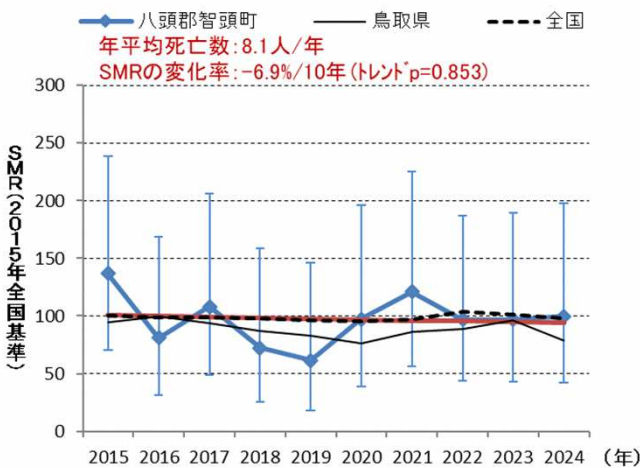


■【女性】

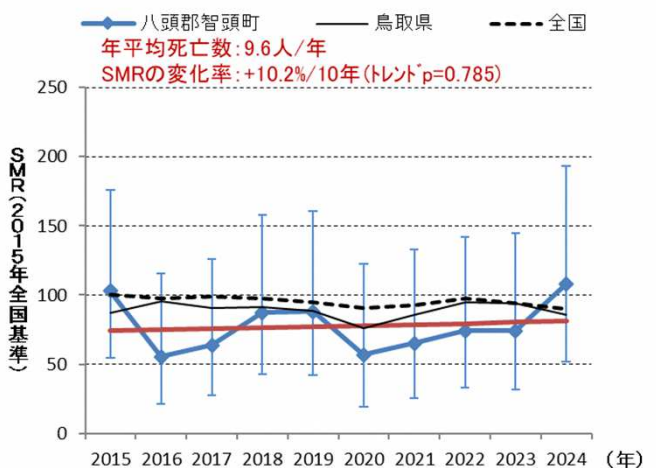
【脳血管疾患】



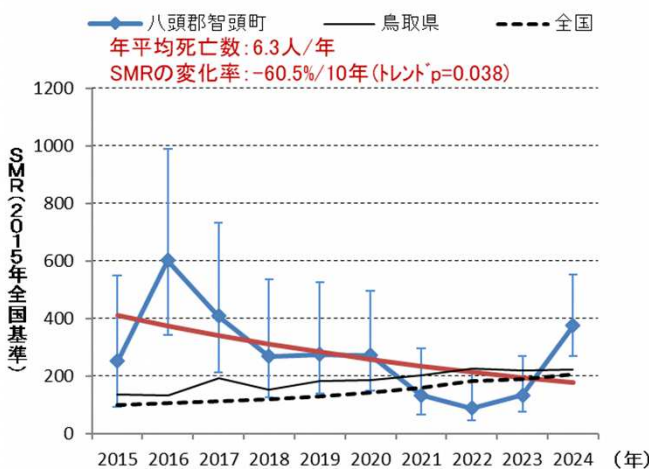
【心疾患(高血圧性を除く)】



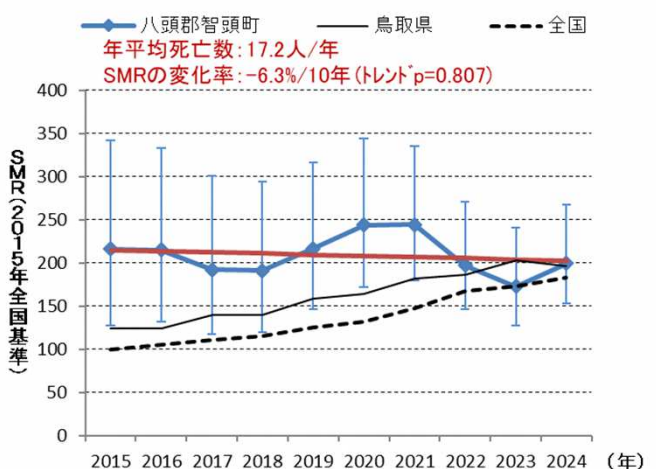
【心疾患(高血圧性を除く)】



【老衰】



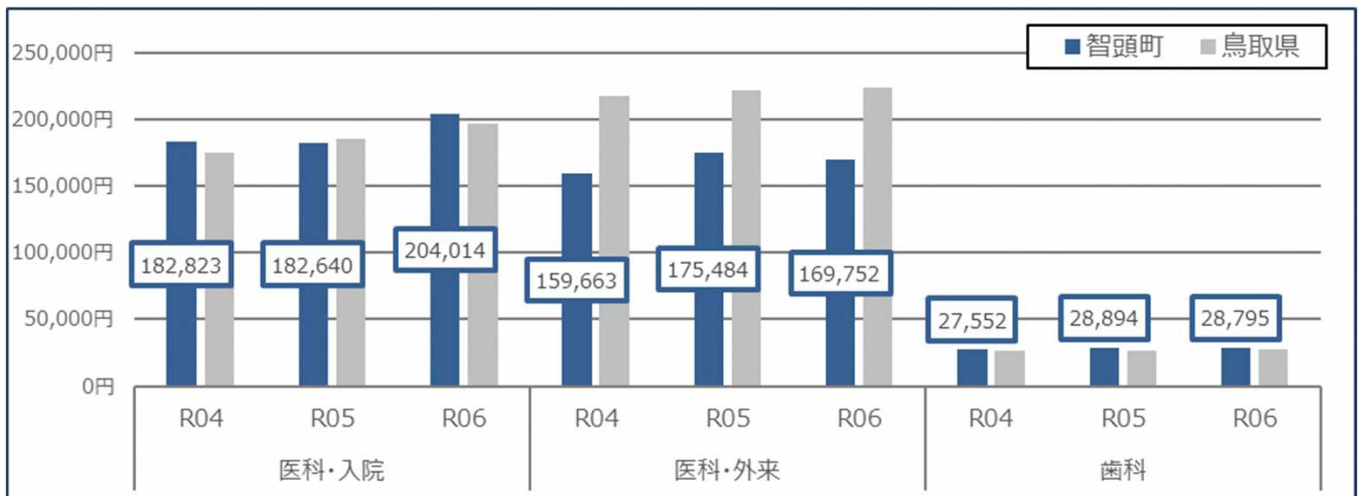
【老衰】



出典: 国立保健医療科学院  
地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握の為に参考データ・ツール集  
「全国市町村別主要死因別標準化死亡比 (SMR) の推移2015~2024」抜粋

### 3. 医療費の状況

#### 国保 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。  
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

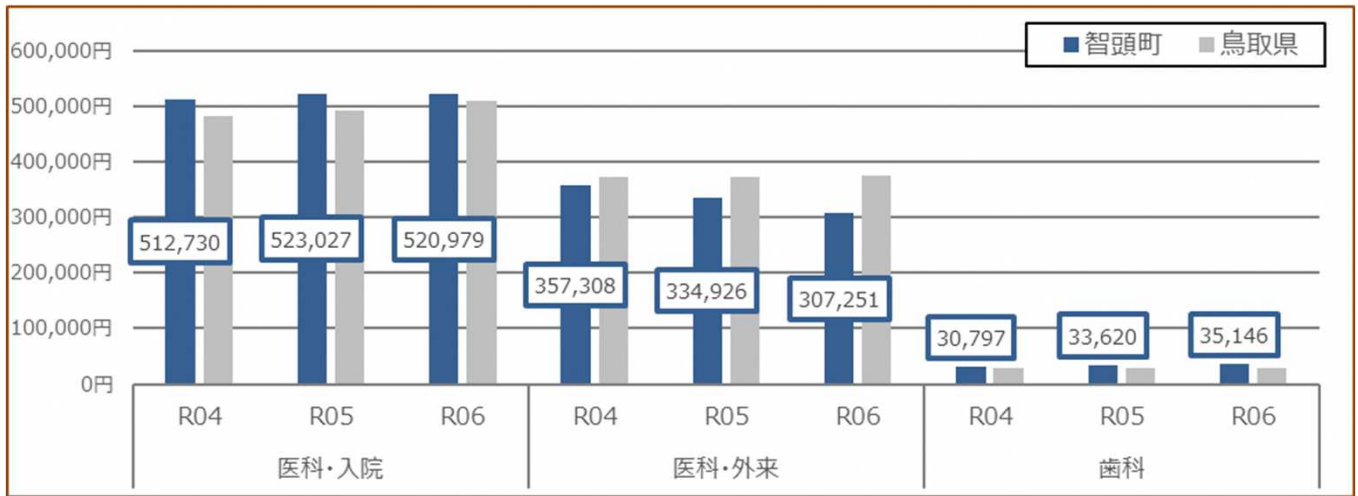
#### 国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3年平均)

(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来+調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	1,222	641	3,766	3,363
2	新生物<腫瘍>	51,066	30,160	32,209	21,654
3	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	249	186	629	740
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	4,847	2,483	28,692	26,965
5	精神及び行動の障害	32,680	21,536	8,301	8,007
6	神経系の疾患	22,564	6,376	14,894	4,842
7	眼及び付属器の疾患	3,235	1,872	6,373	10,199
8	耳及び乳様突起の疾患	0	3,362	1,105	1,807
9	循環器系の疾患	35,495	24,546	29,171	16,615
10	呼吸器系の疾患	18,674	4,476	7,048	7,971
11	消化器系の疾患	14,667	5,447	10,459	8,592
12	皮膚及び皮下組織の疾患	1,607	389	4,677	2,699
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	19,115	8,769	10,464	16,137
14	尿路性器系の疾患	6,930	5,506	10,310	15,742
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	23	0	38
16	周産期に発生した病態	0	0	13	0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	985	39	86
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	3,385	3,673	2,052	2,542
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	11,470	11,807	2,177	1,756
合計		227,207	132,239	172,379	149,754

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。  
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析 (大分類) (令和4年度~令和6年度)

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 内科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。  
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

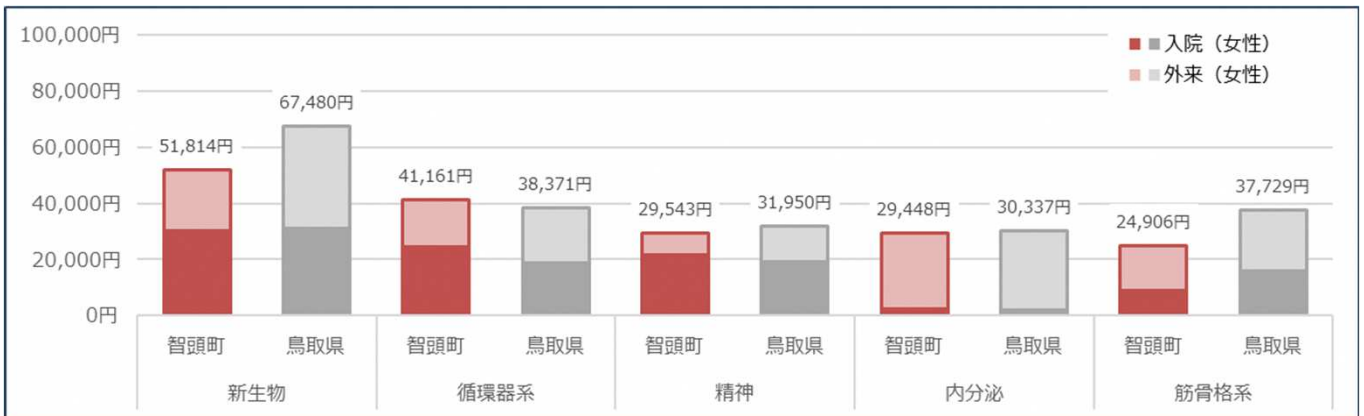
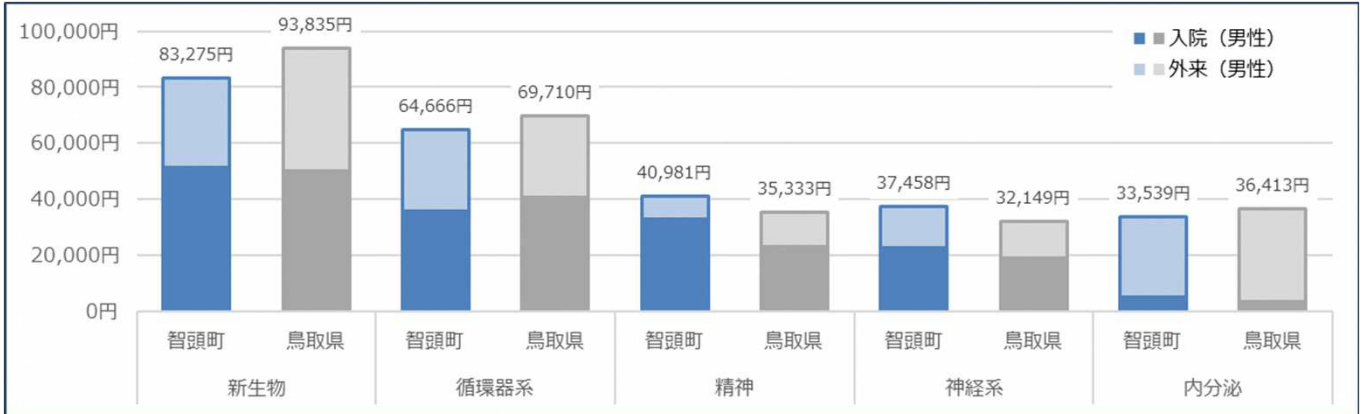
後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3年平均)

(単位:円)

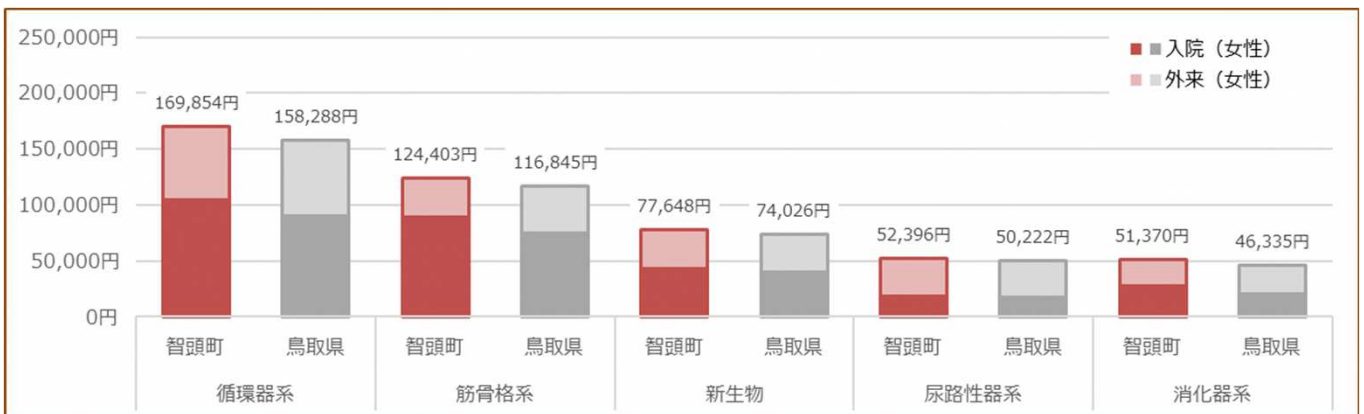
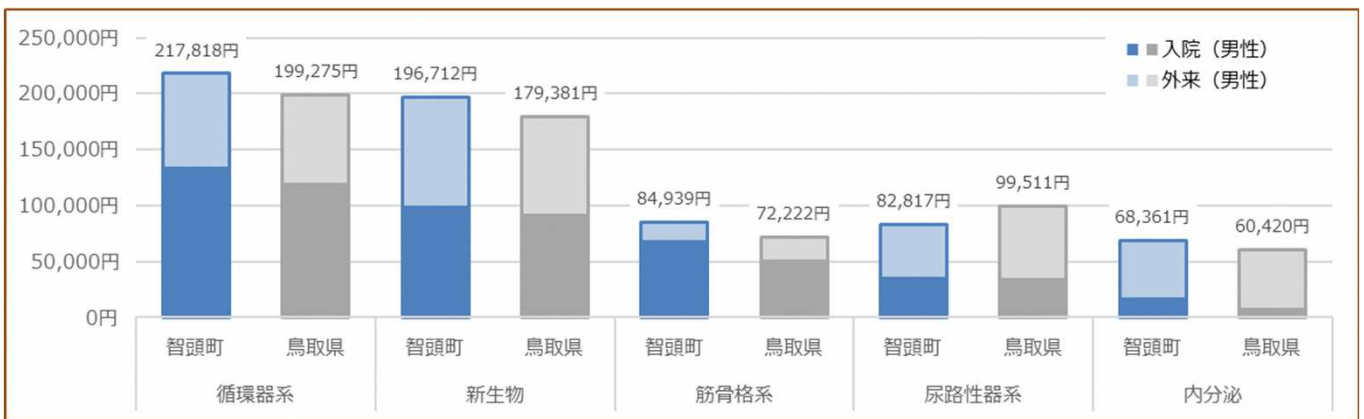
番号	疾病大分類	内科・入院		内科・外来+調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	4,698	13位	5,299	13位
2	新生物<腫瘍>	98,244	2位	43,202	4位
3	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	3,327	15位	6,477	12位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	16,062	10位	10,656	10位
5	精神及び行動の障害	20,418	9位	27,697	6位
6	神経系の疾患	22,133	8位	19,693	8位
7	眼及び付属器の疾患	8,125	11位	6,630	11位
8	耳及び乳様突起の疾患	0	16位	233	16位
9	循環器系の疾患	133,256	1位	104,096	1位
10	呼吸器系の疾患	44,882	4位	28,046	5位
11	消化器系の疾患	29,825	7位	27,617	7位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	7,046	12位	1,690	15位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	67,755	3位	89,067	2位
14	尿路性器系の疾患	34,509	6位	18,529	9位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	16位	0	17位
16	周産期に発生した病態	0	16位	0	17位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	16位	0	17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	4,393	14位	4,051	14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	41,506	5位	47,620	3位
合計		536,180	-	440,602	-

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。  
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析 (大分類) (令和4年度~令和6年度)

**国保** 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



**後期** 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



※傷病名不詳等の疾病分類できないレプトは集計対象外としている。  
 出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和4年度～令和6年度）

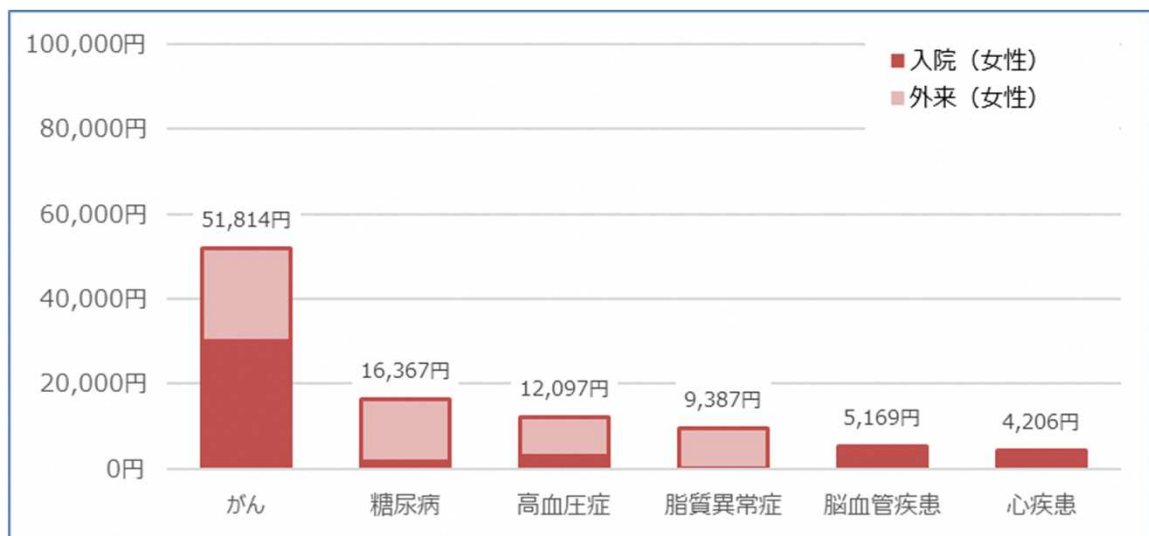
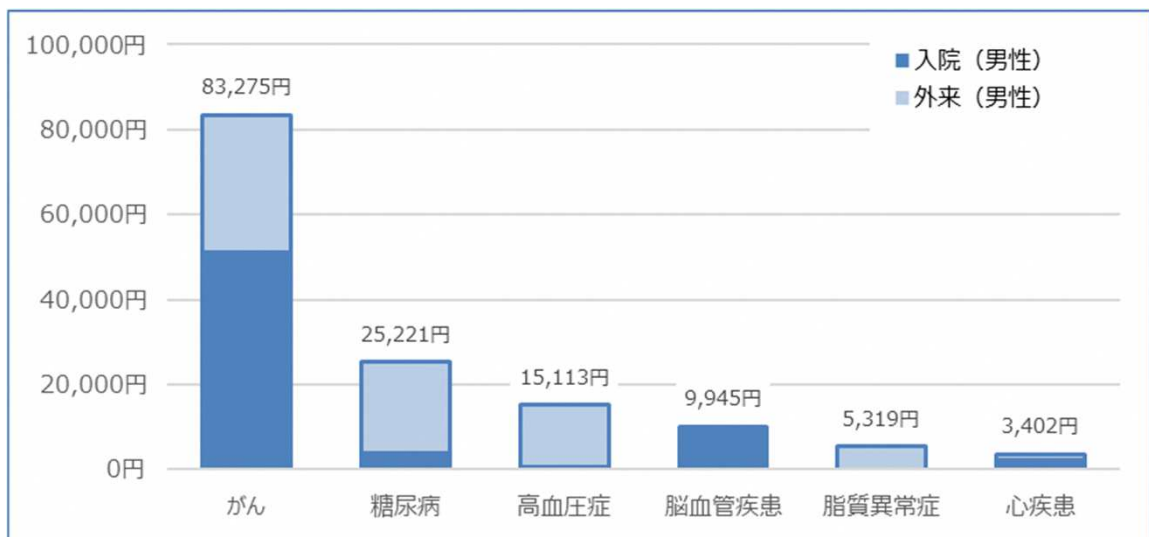
国保

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位：円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	535	5位	2,886	4位	14,578	3位	9,211	4位
糖尿病	3,778	3位	1,770	5位	21,443	2位	14,597	2位
脂質異常症	0	6位	154	6位	5,319	4位	9,233	3位
心疾患	2,232	4位	3,305	3位	1,170	5位	901	5位
脳血管疾患	9,027	2位	4,839	2位	918	6位	330	6位
がん	51,066	1位	30,160	1位	32,209	1位	21,654	1位

出典：KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和4年度～令和6年度累計）



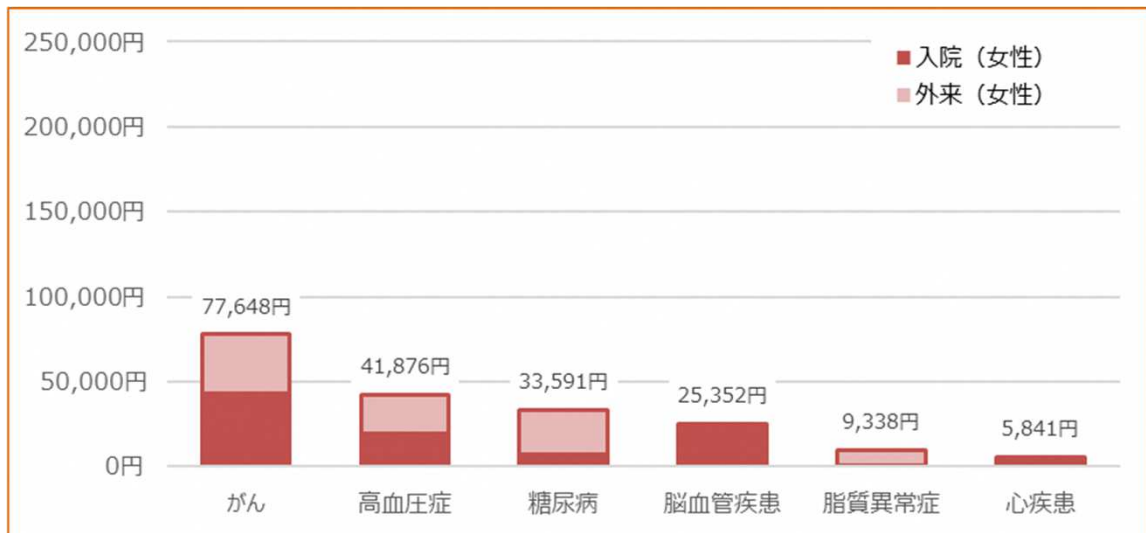
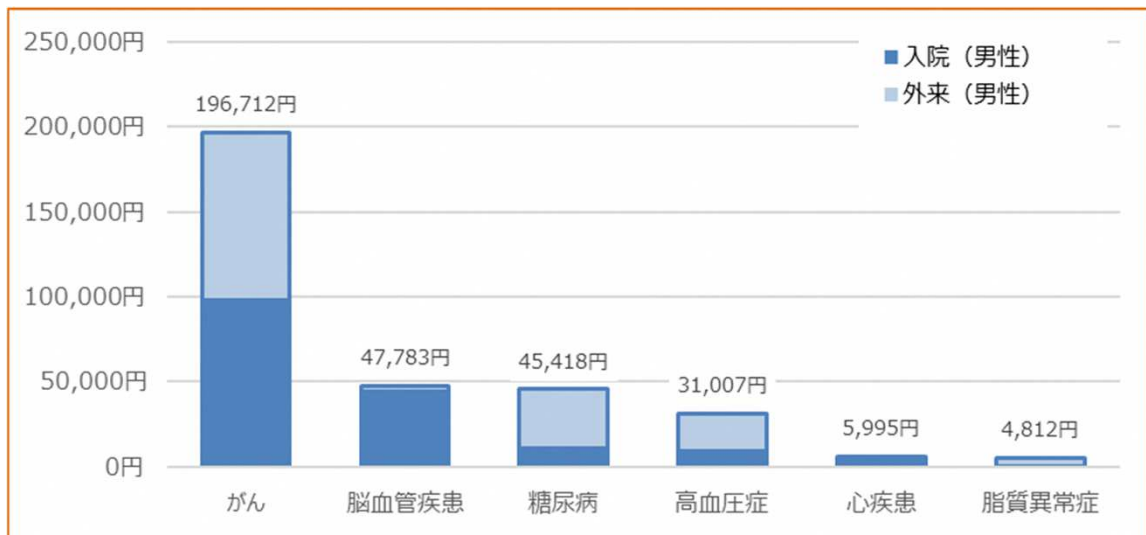
後期

生活習慣病別被保険者1人当たり年間医療費（入院、外来+調剤）（3年平均）

（単位：円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来+調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	9,202	4位	19,663	3位	21,805	3位	22,213	3位
糖尿病	10,816	3位	7,294	4位	34,602	2位	26,297	2位
脂質異常症	383	6位	821	6位	4,429	4位	8,517	4位
心疾患	4,209	5位	4,117	5位	1,786	6位	1,724	6位
脳血管疾患	44,536	2位	22,623	2位	3,247	5位	2,729	5位
がん	98,244	1位	43,202	1位	98,468	1位	34,446	1位

出典：KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和4年度～令和6年度累計）



**国保** 疾病中分類別被保険者1人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

**■【男性】入院（医科）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20,451
2	パーキンソン病	11,382
3	慢性閉塞性肺疾患	7,575
4	骨折	6,350
5	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,271
6	脳梗塞	5,496
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,397
8	血管性及び詳細不明の認知症	4,042
9	糖尿病	3,778
10	関節症	3,738

**■【男性】外来（医科+調剤）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	22,326
2	高血圧性疾患	14,578
3	腎不全	5,709
4	脂質異常症	5,319
5	てんかん	3,921
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,798
7	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,304
8	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	3,115
9	結腸の悪性新生物<腫瘍>	2,478
10	炎症性多発性関節障害	2,475

**■【女性】入院（医科）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,734
2	骨折	10,674
3	子宮の悪性新生物<腫瘍>	4,724
4	乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,649
5	脳内出血	4,605
6	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されな	3,673
7	くも膜下出血	3,334
8	虚血性心疾患	3,305
9	関節症	3,283
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,158

**■【女性】外来（医科+調剤）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	15,361
2	腎不全	11,791
3	脂質異常症	9,233
4	高血圧性疾患	9,211
5	乳房の悪性新生物<腫瘍>	7,395
6	骨の密度及び構造の障害	4,905
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,521
8	喘息	4,139
9	炎症性多発性関節障害	3,730
10	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	3,398

**後期** 疾病中分類別被保険者1人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

**■【男性】入院（医科）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	35,819
2	骨折	28,687
3	腎不全	25,516
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	15,248
5	肺炎	12,506
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	11,272
7	糖尿病	10,816
8	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	10,707
9	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,595
10	関節症	9,618

**■【男性】外来（医科+調剤）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	39,617
2	糖尿病	34,875
3	高血圧性疾患	21,805
4	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	10,852
5	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,724
6	慢性閉塞性肺疾患	5,621
7	白血病	4,801
8	脂質異常症	4,429
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,242
10	関節症	4,218

**■【女性】入院（医科）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	骨折	41,194
2	高血圧性疾患	19,663
3	脳梗塞	19,049
4	関節症	17,234
5	骨の密度及び構造の障害	13,428
6	腎不全	11,822
7	結腸の悪性新生物<腫瘍>	11,564
8	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,669
9	肺炎	7,421
10	糖尿病	7,294

**■【女性】外来（医科+調剤）** (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	26,322
2	腎不全	25,000
3	高血圧性疾患	22,213
4	骨の密度及び構造の障害	14,086
5	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,575
6	脂質異常症	8,517
7	炎症性多発性関節障害	6,942
8	関節症	5,912
9	アルツハイマー病	4,121
10	脊椎障害（脊椎症を含む）	3,826

国保

被保険者1人当たり高額レセプト疾病中分類別医療費及び被保険者千人当たりのレセプト件数（上位10位）（3年平均）

## ■【男性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20,217	51.0
2	パーキンソン病	11,060	14.7
3	慢性閉塞性肺疾患	7,225	11.7
4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,786	5.6
5	骨折	5,761	4.8
6	脳梗塞	5,177	6.5
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,986	5.2
8	血管性及び詳細不明の認知症	3,963	5.2
9	関節症	3,589	3.5
10	脳内出血	3,477	3.5

## ■【女性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,457	25.6
2	骨折	10,195	11.4
3	脳内出血	4,556	5.0
4	乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,436	5.0
5	子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,915	3.2
6	くも膜下出血	3,334	0.5
7	虚血性心疾患	3,305	2.3
8	関節症	3,218	2.7
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,158	2.7
10	血管性及び詳細不明の認知症	3,130	6.9

## ■【男性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	3,444	9.1
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,027	6.9
3	結腸の悪性新生物<腫瘍>	961	2.2
4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	463	0.9
5	てんかん	432	1.3
6	尿路結石症	131	0.4
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-

## ■【女性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	9,947	26.5
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,134	5.0
3	乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,986	8.7
4	胃の悪性新生物<腫瘍>	1,838	2.3
5	喘息	1,537	4.6
6	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	867	0.5
7	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	337	0.9
8	悪性リンパ腫	198	0.5
9	-	-	-
10	-	-	-

※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和4年度～令和6年度）

後期

被保険者1人当たり高額レセプト疾病中分類別医療費及び被保険者千人当たりのレセプト件数（上位10位）（3年平均）

## ■【男性】入院（医科）

（単位：円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	34,582	48.1
2	骨折	27,185	26.7
3	腎不全	24,525	32.7
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,789	16.0
5	肺炎	11,060	19.6
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	10,635	10.1
7	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	10,469	10.1
8	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,312	9.5
9	糖尿病	9,689	16.6
10	関節症	9,448	8.3

## ■【女性】入院（医科）

（単位：円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	骨折	38,993	47.6
2	高血圧性疾患	17,633	31.9
3	脳梗塞	17,442	25.1
4	関節症	16,621	16.9
5	骨の密度及び構造の障害	12,200	18.3
6	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,979	11.7
7	腎不全	10,707	16.3
8	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,397	25.1
9	白血病	6,553	2.9
10	肺炎	6,310	8.8

## ■【男性】外来（医科+調剤）

（単位：円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	30,232	77.2
2	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,964	8.3
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,558	4.8
4	白血病	3,319	6.5
5	胃の悪性新生物<腫瘍>	2,262	3.6
6	炎症性多発性関節障害	1,525	4.2
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-

## ■【女性】外来（医科+調剤）

（単位：円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	19,398	50.2
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,586	11.7
3	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2,571	3.6
4	炎症性多発性関節障害	564	1.6
5	乳房の悪性新生物<腫瘍>	333	1.0
6	皮膚炎及び湿疹	147	0.3
7	骨折	102	0.3
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-

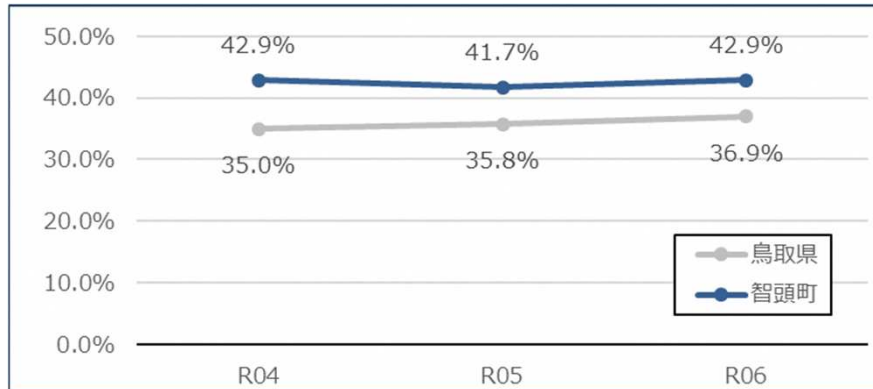
※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典：KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和4年度～令和6年度）

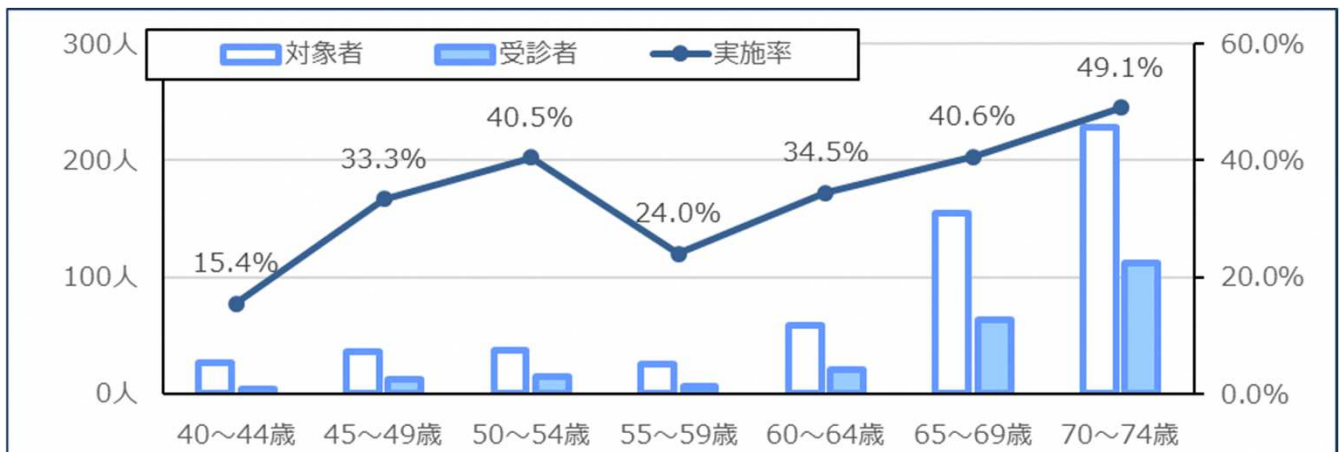
## 4. 健康診査の状況

### 国保 特定健康診査実施率

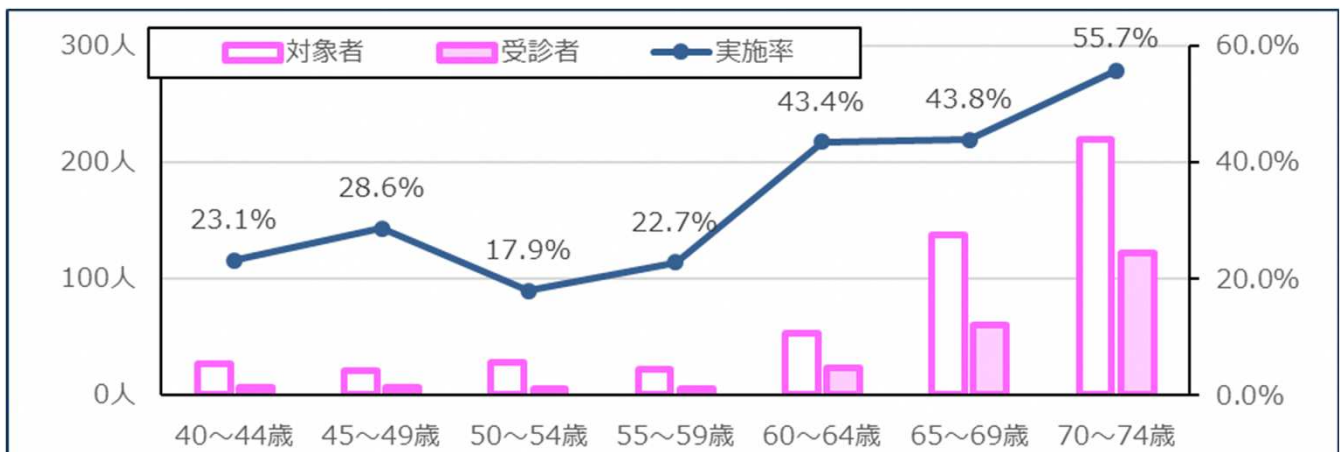
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R04	1,156人	496人	42.9%	35.0%	37.5%
R05	1,121人	467人	41.7%	35.8%	38.2%
R06	1,071人	459人	42.9%	36.9%	-



### 国保 【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況 (令和6年度)



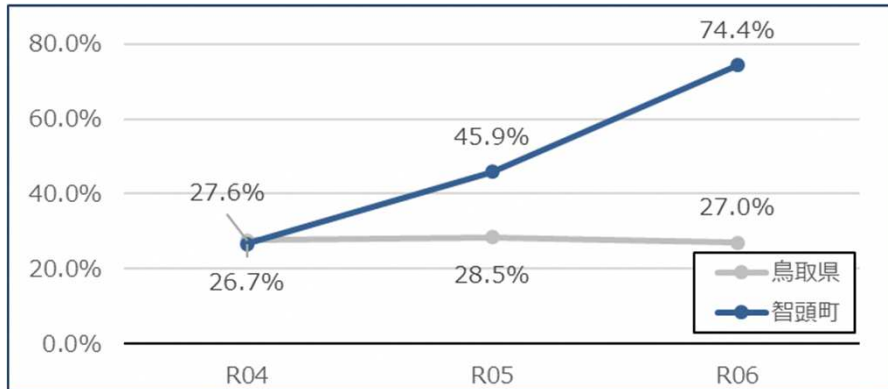
### 国保 【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況 (令和6年度)



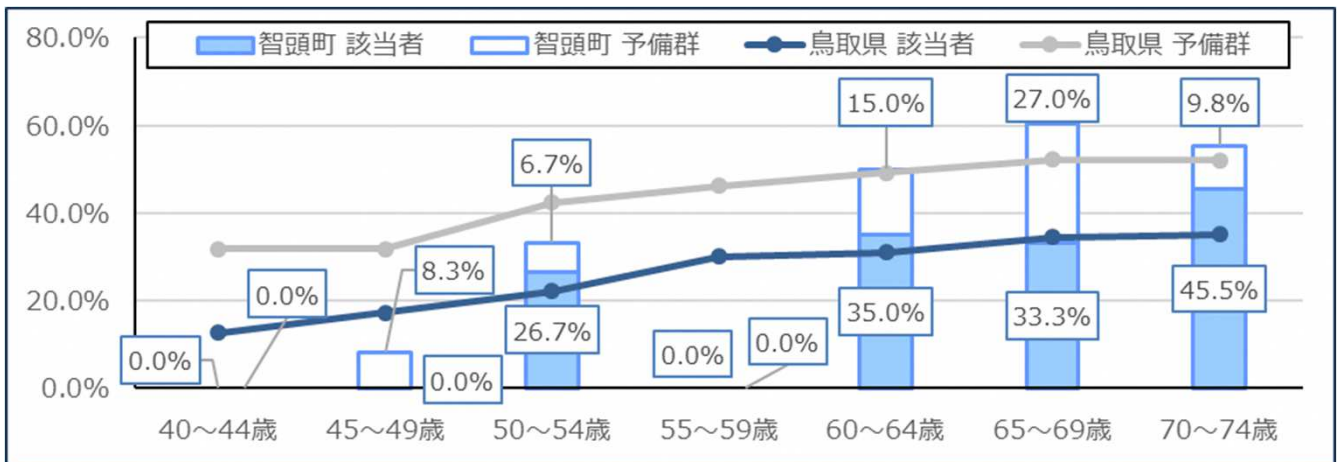
出典:特定健診データ管理システム法定報告資料(各年度)  
国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

**国保** 特定保健指導実施率

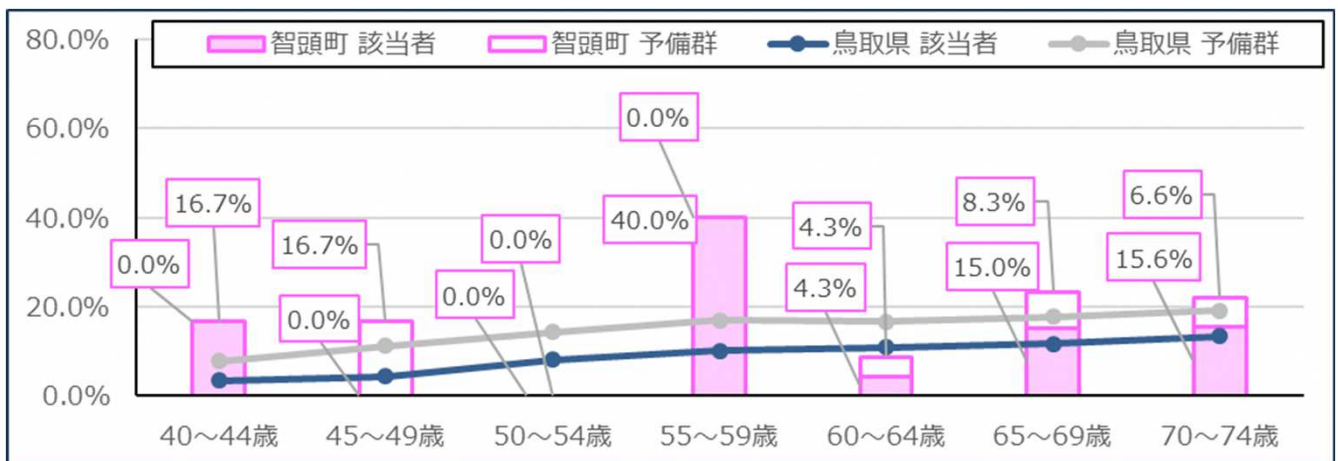
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R04	45人	12人	26.7%	27.6%	28.8%
R05	37人	17人	45.9%	28.5%	29.1%
R06	39人	29人	74.4%	27.0%	-



**国保** 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和6年度）



**国保** 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和6年度）



出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）  
国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

## 国保 特定健診の質問票回答状況

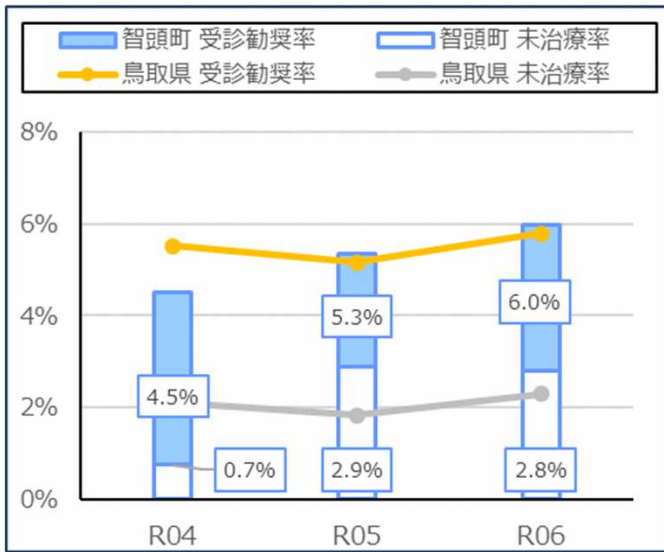
特定健診の質問票		男性		女性	
		智頭町	標準化比	智頭町	標準化比
服薬	高血圧症	48.3%	107.3	28.6%	84.7
	糖尿病	15.5%	116.2	7.5%	110.7
	脂質異常症	30.2%	110.7	35.7%	103.1
既往歴	脳卒中	1.7%	35.6	0.0%	0.0
	心臓病	1.7%	*19.3	0.0%	*0.0
	慢性腎臓病・腎不全	0.6%	42.1	0.0%	0.0
	貧血	2.8%	56.9	4.4%	*29.5
喫煙	喫煙	28.4%	*135.2	4.0%	76.1
体重変化	20歳時体重から10kg以上増加	43.3%	94.9	25.5%	94.5
運動	1回30分以上の運動習慣なし	64.2%	114.5	66.5%	112.0
	1日1時間以上運動なし	59.5%	*121.6	50.5%	109.2
	歩行速度遅い	59.1%	118.5	60.8%	*122.0
食習慣	食べる速度が速い	27.4%	91.5	25.5%	110.4
	食べる速度が普通	66.0%	106.4	67.0%	97.3
	食べる速度が遅い	6.5%	82.1	7.5%	93.1
	週3回以上就寝前夕食	19.1%	95.7	11.8%	119.3
	週3回以上朝食を抜く	8.4%	69.6	2.4%	*35.1
飲酒	毎日飲酒	36.7%	115.1	7.1%	84.9
	週5～6日飲酒	12.1%	114.4	2.8%	63.4
	週3～4日飲酒	6.5%	76.8	3.3%	56.3
	週1～2日飲酒	8.4%	103.0	4.7%	63.3
	月に1～3日飲酒	5.1%	76.1	7.1%	90.3
	月に1日未満飲酒	3.3%	58.7	4.7%	64.3
	飲酒やめた	4.2%	75.9	2.4%	102.3
	飲まない	23.7%	102.6	67.8%	*120.6
	1日飲酒量(1合未満)	32.3%	*73.0	81.5%	101.5
	1日飲酒量(1～2合)	45.2%	*130.0	15.4%	101.2
	1日飲酒量(2～3合)	19.4%	123.6	3.1%	92.5
	1日飲酒量(3～5合)	1.9%	43.2	0.0%	0.0
	1日飲酒量(5合以上)	1.3%	138.5	0.0%	0.0
睡眠	睡眠不足	28.8%	117.9	31.6%	111.9
行動変容	改善意欲なし	34.9%	113.0	27.4%	116.0
	改善意欲あり	29.8%	114.4	26.9%	94.5
	改善意欲ありかつ始めている	10.7%	88.9	11.8%	78.7
	取り組み済み6ヶ月未満	8.4%	102.1	11.3%	112.9
	取り組み済み6ヶ月以上	16.3%	71.2	22.6%	98.7
保健指導	過去に保健指導を受けたことがある	40.0%	*138.3	29.7%	*147.0
口腔機能	咀嚼_何でも	71.2%	92.3	84.9%	106.0
	咀嚼_かみにくい	26.5%	122.1	15.1%	77.7
	咀嚼_ほとんどかめない	2.3%	197.2	0.0%	0.0
食習慣	3食以外間食_毎日	14.4%	100.4	35.8%	*129.6
	3食以外間食_時々	59.1%	104.9	52.4%	89.8
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	26.5%	90.3	11.8%	84.2

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比(間接法)を表示している。  
 ※「\*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

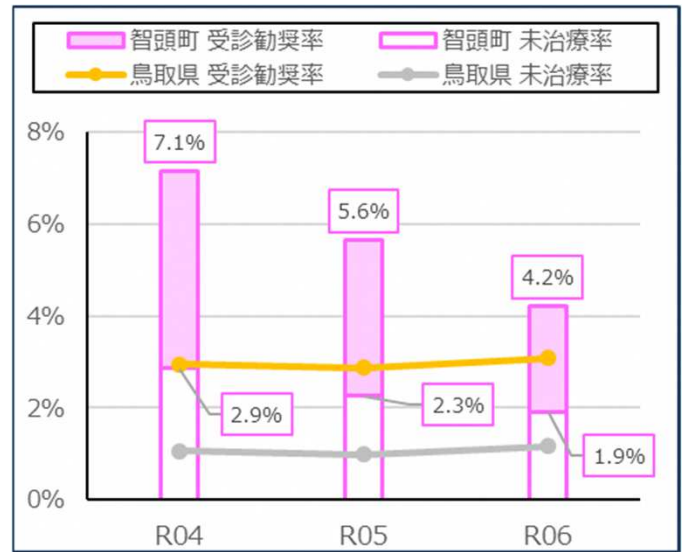
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況(令和6年度)

国保 特定健診異常値受診勧奨者および未治療者の割合

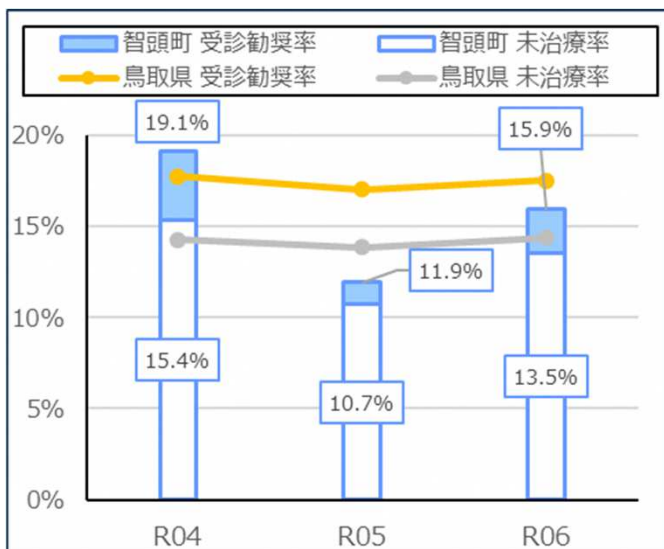
■【男性】（血糖）



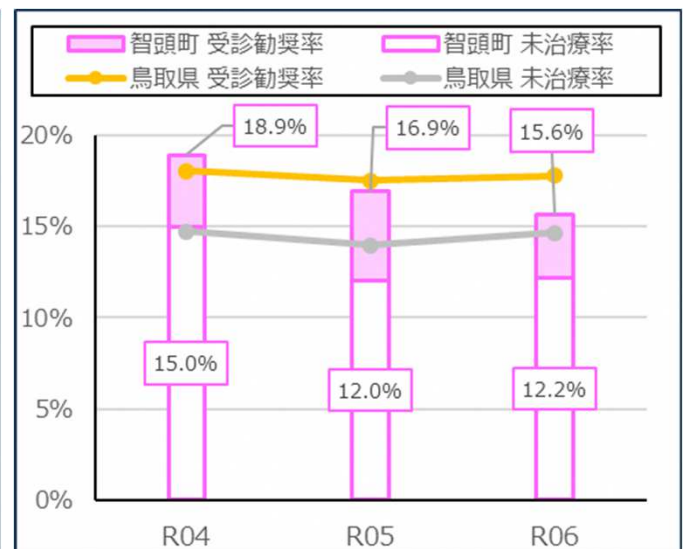
■【女性】（血糖）



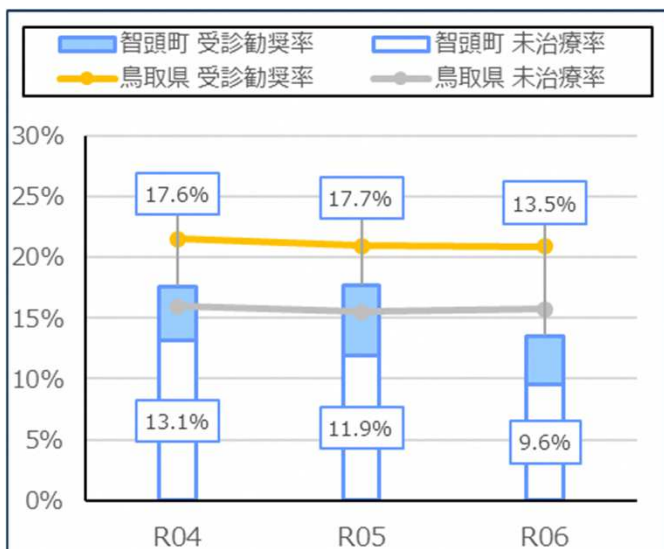
■【男性】（血圧）



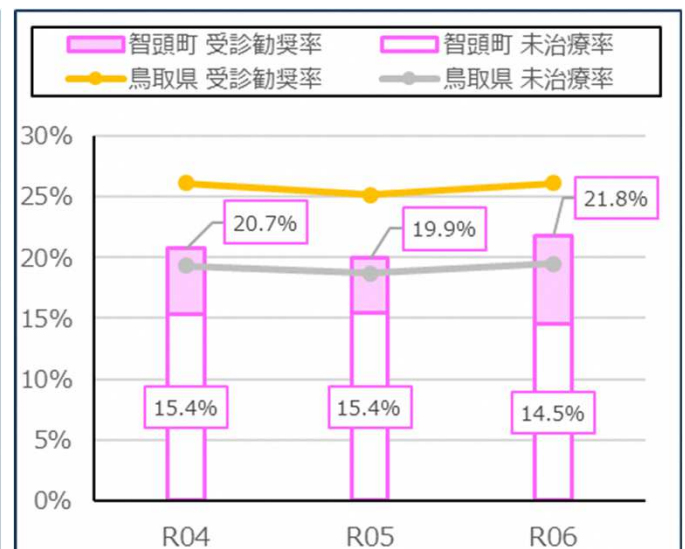
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



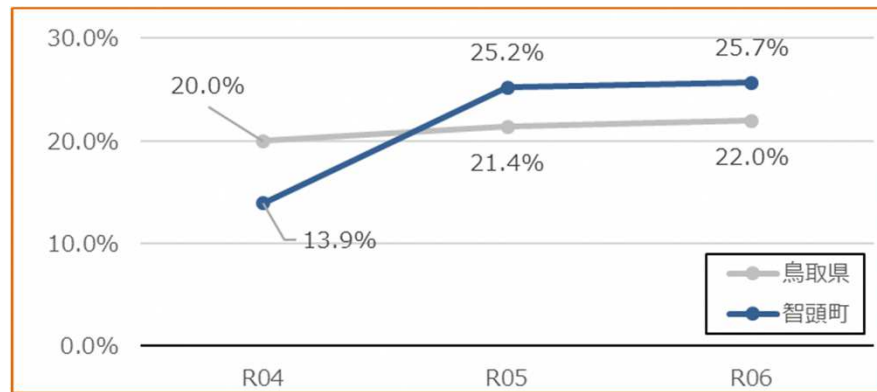
■【女性】（脂質）



※異常値受診勧奨者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定であり、質問票から服薬がない者、また、そのうち未治療の者  
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

後期 後期高齢者医療健康診査実施率

年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率
		受診者数	実施率	
R04	1,550人	215人	13.9%	20.0%
R05	1,567人	395人	25.2%	21.4%
R06	1,554人	400人	25.7%	22.0%



出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 後期高齢者の質問票回答状況

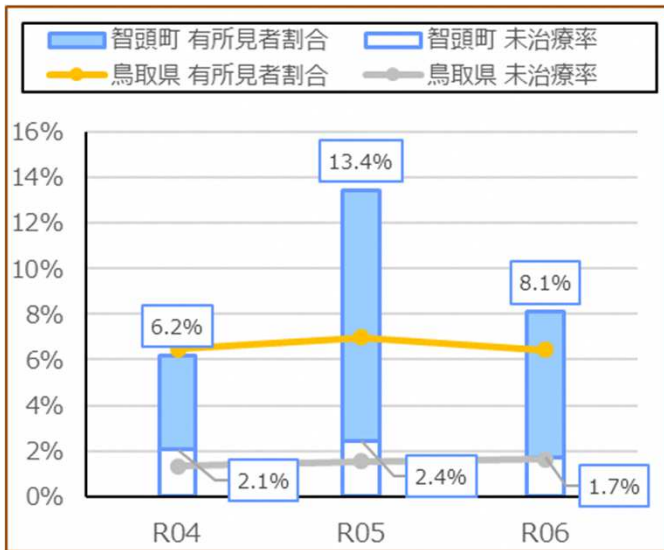
後期高齢者の質問票		男性		女性	
		智頭町	標準化比	智頭町	標準化比
健康状態	よい	30.1%	121.6	16.4%	81.0
	まあよい	26.3%	136.2	27.5%	*158.9
	ふつう	34.6%	*74.7	43.0%	84.0
	あまりよくない	8.3%	98.3	12.3%	121.9
	よくない	0.6%	56.5	0.8%	69.4
心の健康状態	満足	52.6%	108.5	45.1%	100.7
	やや満足	40.4%	94.1	49.2%	106.5
	やや不満	5.1%	68.1	3.7%	*46.6
	不満	1.9%	175.7	2.0%	179.7
食習慣	1日3食きちんと食べる	95.5%	101.8	94.7%	100.1
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	31.4%	129.4	25.8%	89.5
	お茶や汁物等でむせる	14.2%	73.8	17.2%	77.7
体重変化	6カ月で2～3kg以上の体重減少	12.8%	104.2	11.9%	100.9
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	59.0%	106.2	65.4%	106.9
	この1年間に転んだ	14.2%	87.0	24.6%	120.0
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	60.9%	92.0	54.1%	88.0
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	15.4%	110.3	12.3%	76.5
	今日の日付がわからない時あり	23.7%	108.4	21.3%	83.1
喫煙	吸っている	9.0%	95.3	0.8%	41.5
	吸っていない	49.4%	98.9	98.0%	104.6
	やめた	41.7%	102.4	1.2%	*28.1
社会参加	週に1回以上は外出	93.6%	100.8	88.1%	96.0
	家族や友人と付き合いがある	94.2%	101.2	95.9%	99.6
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	92.3%	98.2	94.7%	98.6

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比(間接法)を表示している。  
 ※「\*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

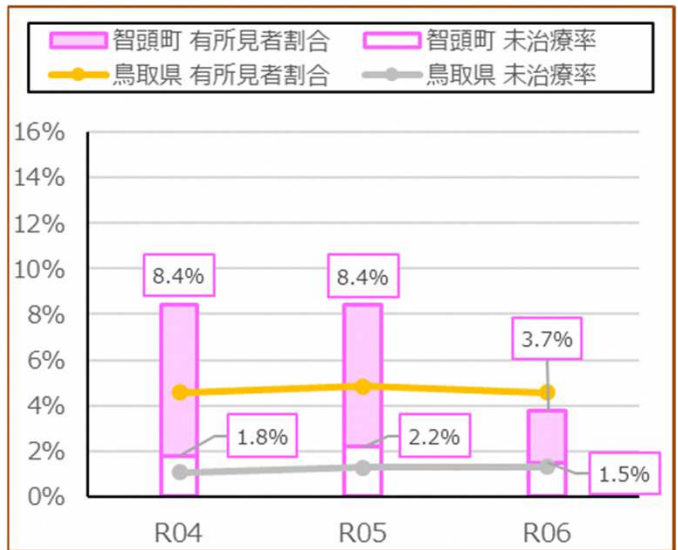
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況(令和6年度)

後期 健診有所見者および未治療者の割合

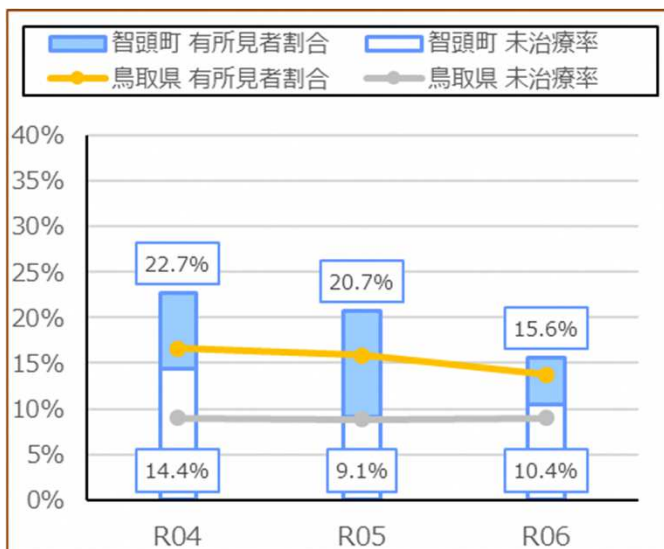
■【男性】（血糖）



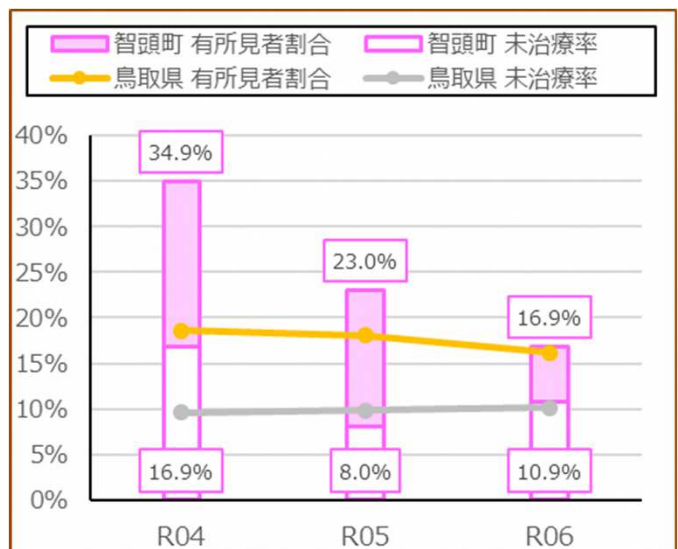
■【女性】（血糖）



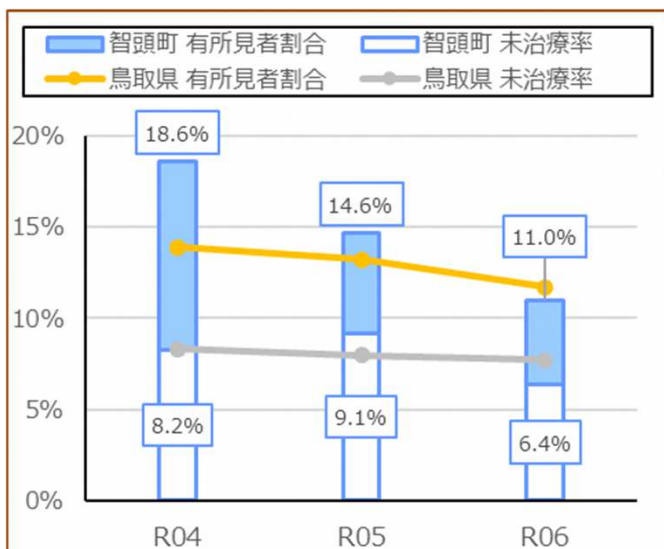
■【男性】（血圧）



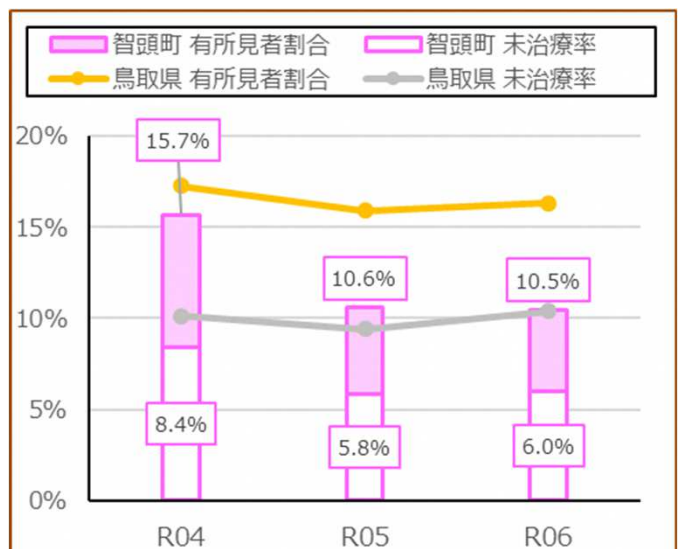
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



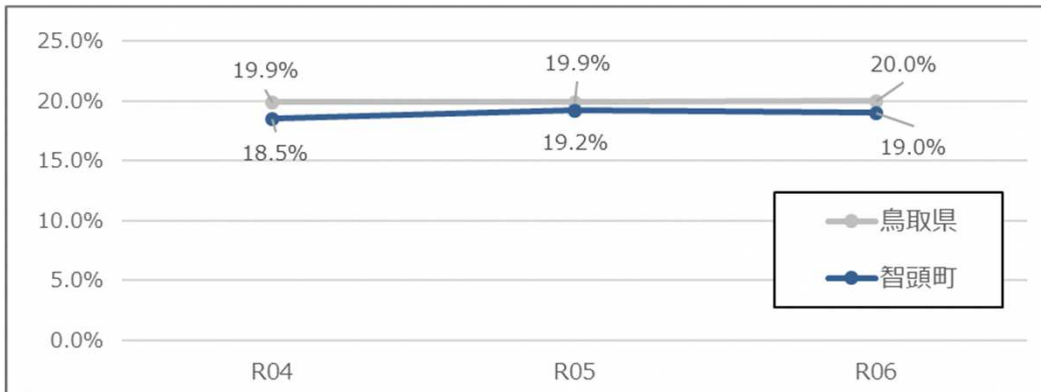
■【女性】（脂質）



※有所見者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定である者、また、そのうち未治療の者  
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

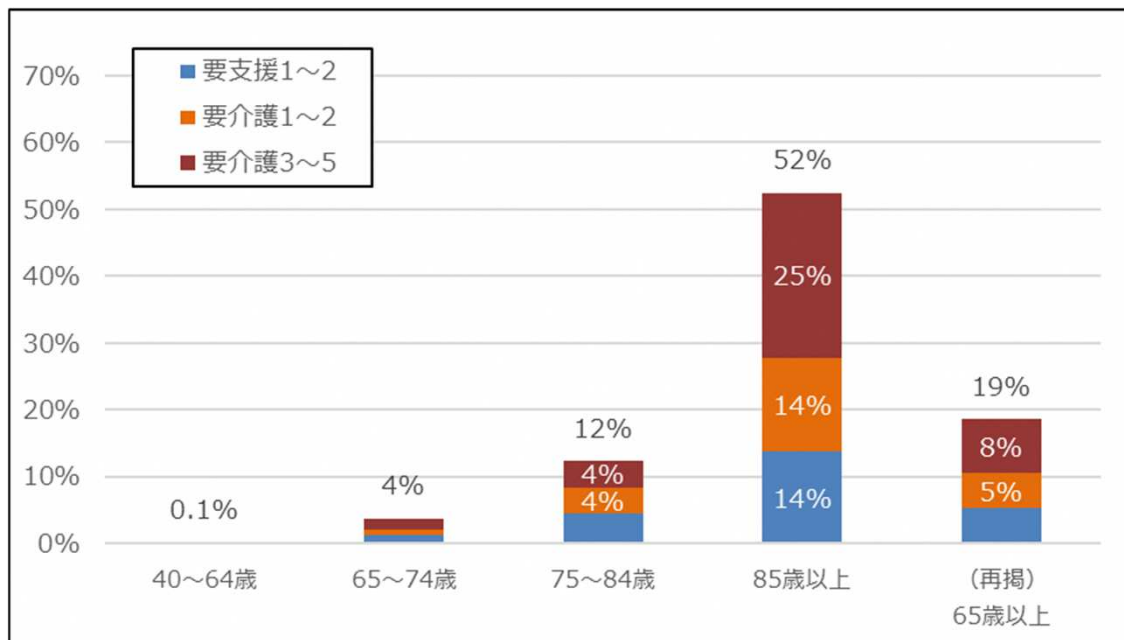
## 5. 介護の状況

### ■ 要介護認定率（年次推移）



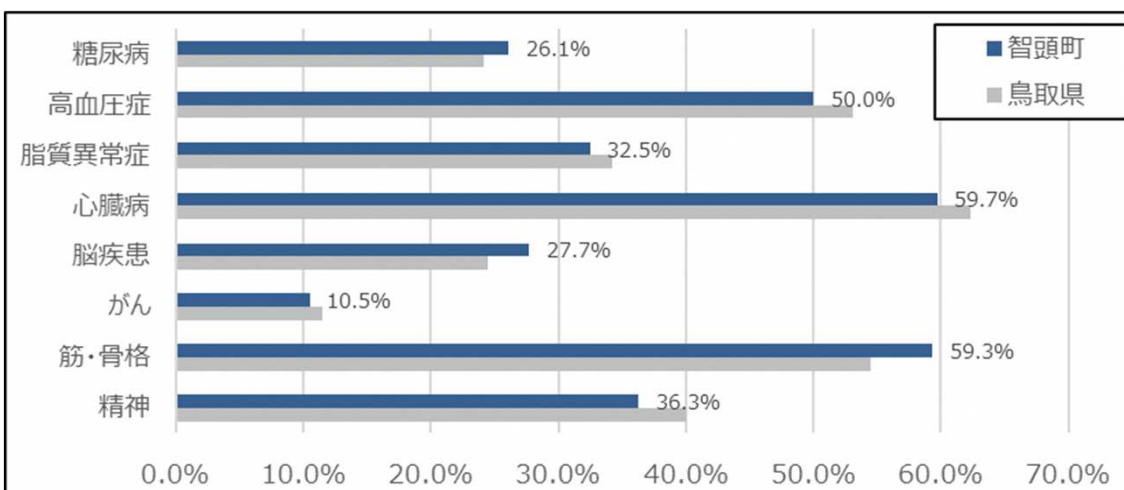
出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 (各年度累計)

### ■ 年齢階層別要介護認定率



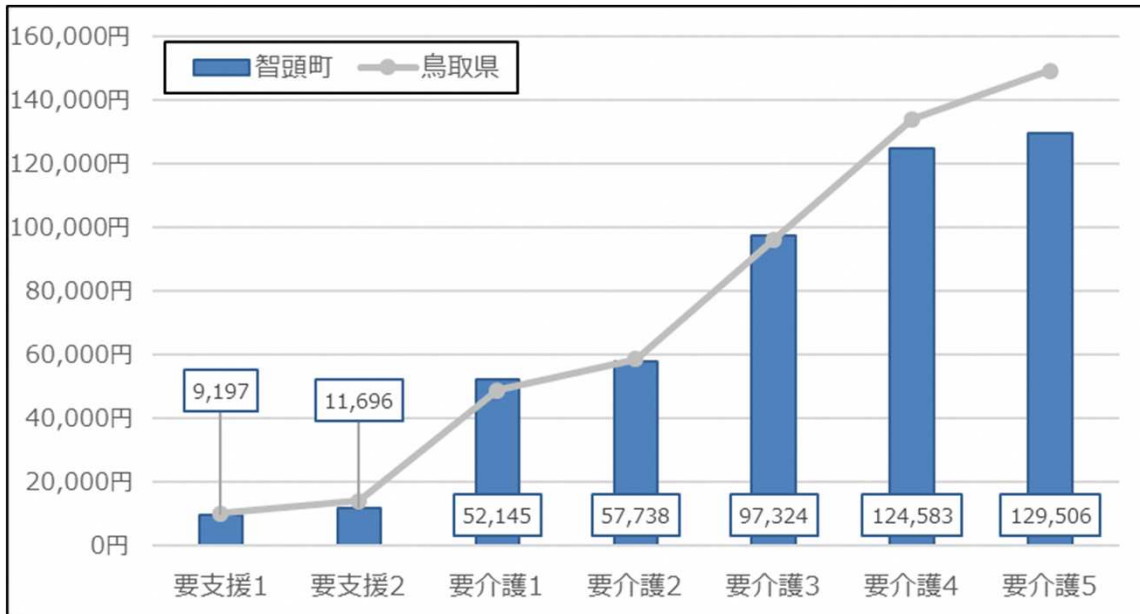
出典:KDB帳票No.47 要介護（支援）者認定状況(令和6年度)

### ■ 要支援・要介護認定者の有病状況



出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(令和6年度)

■ 要介護度別 1 件当たり介護給付費



出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(令和6年度)

## 6. まとめ

医療費の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保の入院医療費は増加傾向にある。(町P.5)</li> <li>・国保において、男女ともに新生物の医療費が上位である。(町P.5)</li> <li>・後期において、男女ともに循環器系の医療費が上位である。(町P.6)</li> <li>・入院医療費において、女性は国保・後期ともに骨折が上位に入り、後期は男女とも脳梗塞が上位に入る。(町P.10-11)</li> <li>・国保・後期ともに、腎不全・糖尿病・高血圧性疾患の外来医療費が上位に入る。(町P.10-11)</li> </ul>
特定健康診査・ 特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診実施率は、経年的に県平均より高く、横ばいで推移している。(町P.14)</li> <li>・特定健診の3年連続受診者の割合は県内で上位に入るが、新規受診者の割合は県内で最も低い。また、健診未受診者かつ医療機関無受診者の割合が県内で最も高い。(県P.49)</li> <li>・特定健診の質問票において、女性の“3食以外間食_毎日”の標準化比が高く、男性の“喫煙率”、“運動習慣なし”の標準化比が高い。(町P.16)</li> </ul>
介護の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定率は、県平均と同程度で推移している。(町P.20)</li> <li>・要支援・要介護認定者の脳疾患、筋・骨格の有病率は、県平均より高い。(町P.20)</li> <li>・新規要介護認定者における骨粗鬆症の有病率は、県平均より高い。(県P.68)</li> </ul>
健康スコアリングから 見える課題、助言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保・後期ともに、肝機能リスクが県平均より高く、また国保において肥満リスクが県平均より高いため(県P.73,75)、飲酒習慣を含めた食事習慣改善が重要であると考えられる。</li> <li>・後期は運動転倒リスクが高く、社会参加の活発な人、身近に相談できる人がいる人が少ないため(県P.79-80)、地区ごとでの運動事業を検討することができる。</li> <li>・健康状態不明者に対する健康状態の把握も重要であると考えます。</li> </ul>